

CASY-637A

取扱説明書

Ver.6

安全上のご注意

取り扱いを誤りますと故障や事故の原因となりますので、運転中には必ずお読み頂き正しくお使い下さい。

●ここでは、安全上の注意事項ラベルを「危険」および「注意」として区別してあります。



危険 : 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を受ける可能性があります。



注意 : 取り扱いを誤った場合に、中程度の障害や軽傷を受ける可能性、あるいは物的損傷が発生する可能性があります。

使用上の注意事項



危険: 加工中、K刃に手を近付けないで下さい。

K刃が上下左右に動いていますので、ケガの原因になることがあります。



注意: 加工中、K刃位置合わせつまみに手などを近付けないで下さい。

回転していますので、ケガの原因になることがあります。



注意: メカカバーを外して加工を行わないで下さい。

ケガの原因になります。



注意: 濡れた手でスイッチを操作しないで下さい。

感電の原因になることがあります。



注意: 本機に水をかけないで下さい。

感電や火災の原因になることがあります。



注意: ブレーカ・ヒューズの容量を守って下さい。

ヒューズの代わりに針金等を使用しないで下さい。故障や火災の原因になります。ヒューズやブレーカがたびたび切れるときは、お買い上げの販売店にご相談下さい。




注意: 異常(焦げ臭いなど)の時は、運転を停止電源をOFFにして、お買い上げの販売店にご相談下さい。


異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因になります。




注意: 本機の上に乗ったり、物を載せたりしないで下さい。


落下、転倒等によるケガの原因になることがあります。


 注意:掃除・保守点検などの際、必ず電源コードを抜き本機に電源が来ていない状態にして下さい。
ケガや感電の原因になることがあります。


 注意:修理は、お買い上げの販売店にご相談下さい。
修理に不備があると感電・火災等の原因になります。


 注意:本機の改造・改修は行わないで下さい。


据え付け上の注意事項

 危険:本機の重量に十分に耐えられ、出来るだけ水平な場所に確実に設置して下さい。
据え付けに不備があると、本機の落下によるケガや振動、運転音増大の原因になります。

 注意:漏電ブレーカの取り付けが必要です。
漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電や火災の原因になることがあります。

 注意:電源コードは付属の本機専用コードを必ず使用して下さい。
火災等の原因になります。

 注意:暑い所、湿気の多い所、また雨のかかる所などには設置しないで下さい。
故障や感電・火災等の原因になります。

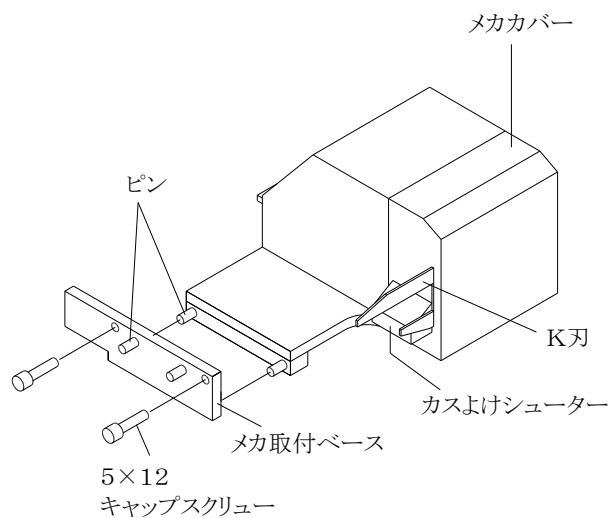
 注意:振動のある場所は避けて下さい。
故障やケガの原因になります。

目次

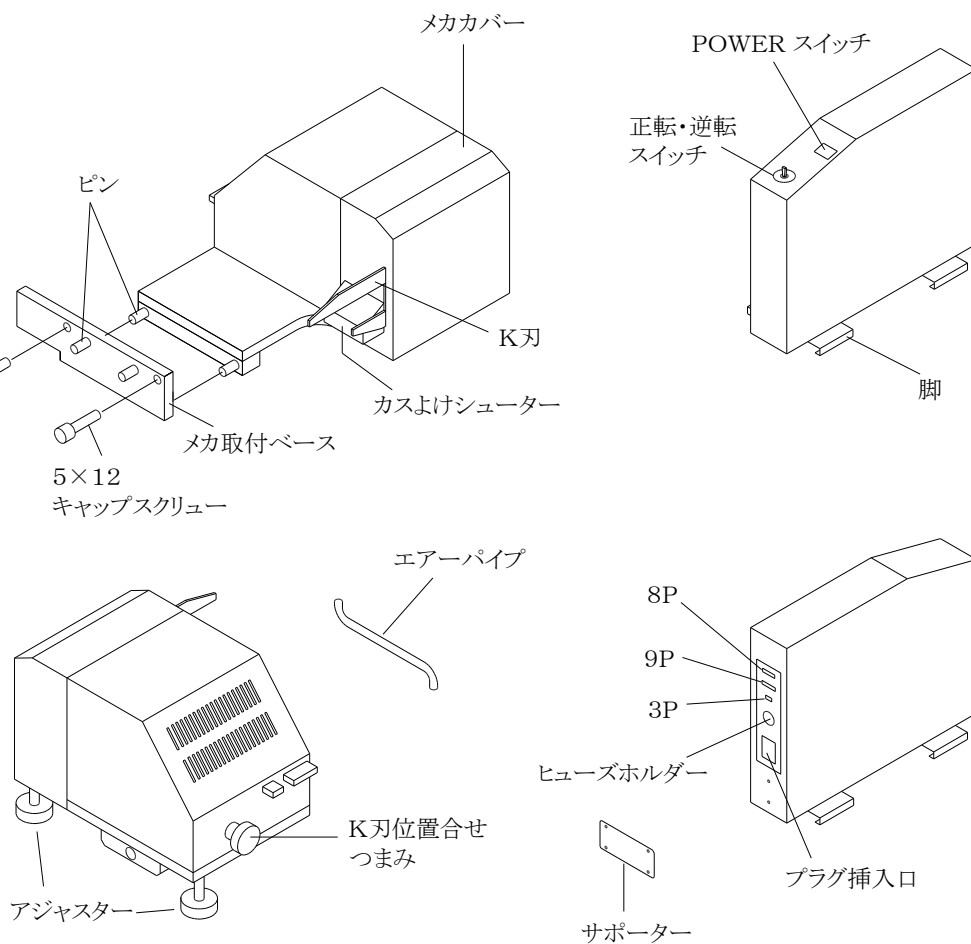
安全上のご注意	1
使用上の注意事項	1
据え付け上の注意事項	2
目次	3
各部名称	3
1. CASY-637A 取付方法	4
<CASYS-637A 本体取付方法>	4
<ハーネスの追加>	6
<外部接続>	8
2. 設定画面	9
3. CASY-637A 取扱方法	12
4. K刃の交換方法	14
5. こんな時に・・・	15
仕 様	16

各部名称

<CASYS-637A 本体>



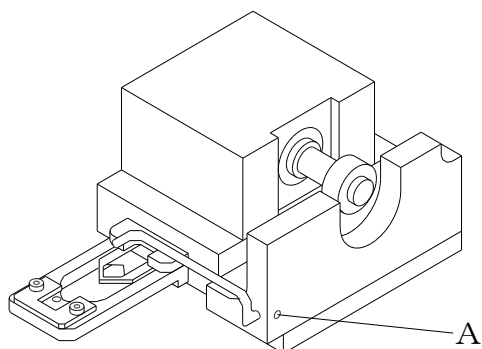
<CASYS-637A コントロールBOX>



1. CASY-637A 取付方法

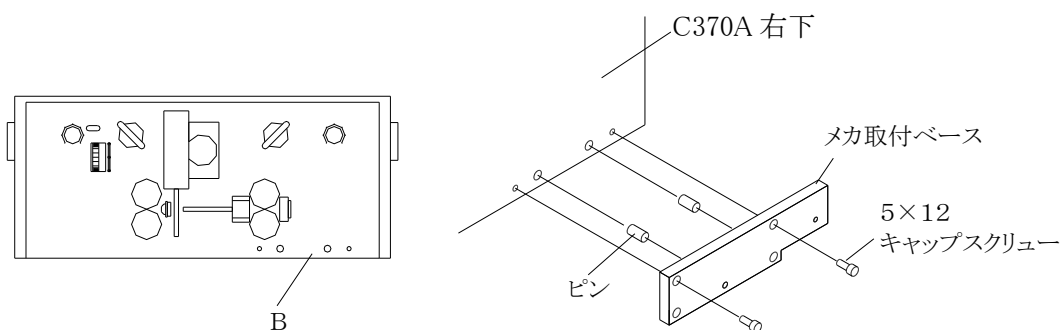
<CASY-637A 本体取付方法>

①C370A カッターブロックのエアークノズル(向かって右側)を、Aのネジを緩めて取り外し、付属の CASY-637A 用のエアークノズルを取り付けます。

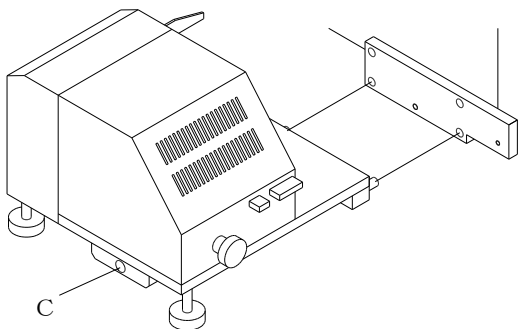


②C370A のガイドパイプを、付属のCASY-637A 用のガイドパイプに交換します。
(CASY-637A 用のガイドパイプは、標準のものより少し短くなっています。)

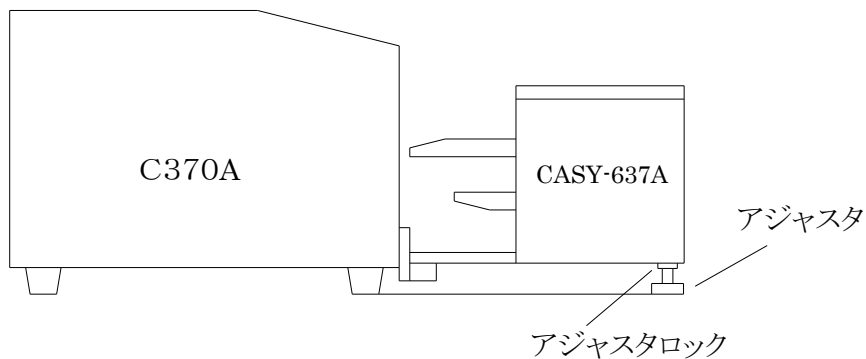
③C370A 前面右下にあるBの位置に、付属の5×12のキャップスクリューでメカ取付ベースを取付けます。付属のピンを、パネルと、メカ取付ベースの穴に確実にに入れて取付けて下さい。



④CASY-637A 本体を、メカ取付ベースに取付けます。本体のピンを取付ベースの穴に確実に入れて、Cのネジを締めて下さい。

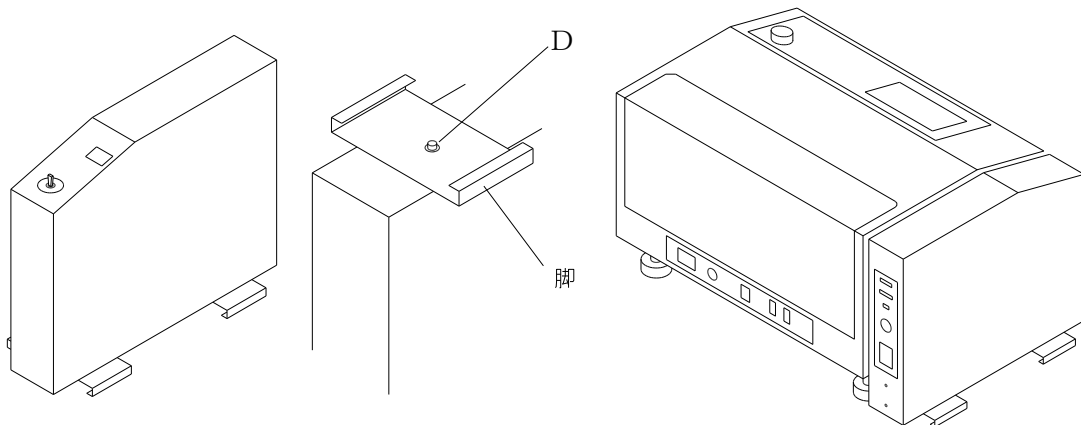


⑤C370A と高さが合う様に、アジャスタを調整して下さい。

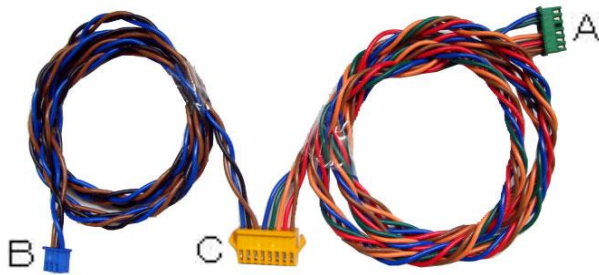


<CASY-637A コントロールBOX設置方法>

コントロールBOXの脚のDのネジを緩め、横向きにして締めて下さい。コントロールBOXは、C370A の左側もしくは、後で接続するハーネスのとどく場所に置いて下さい。

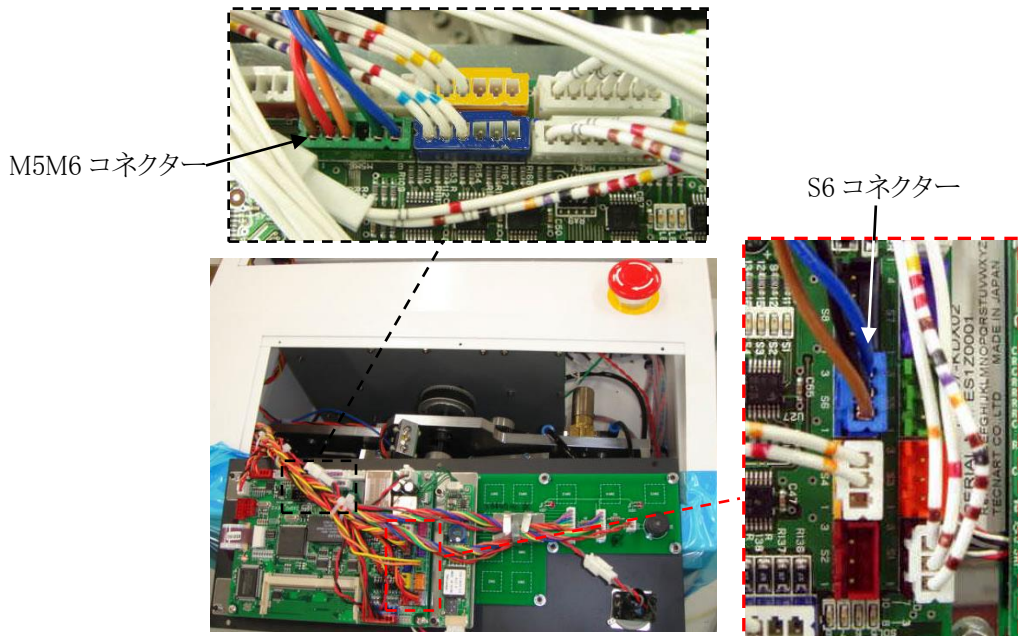


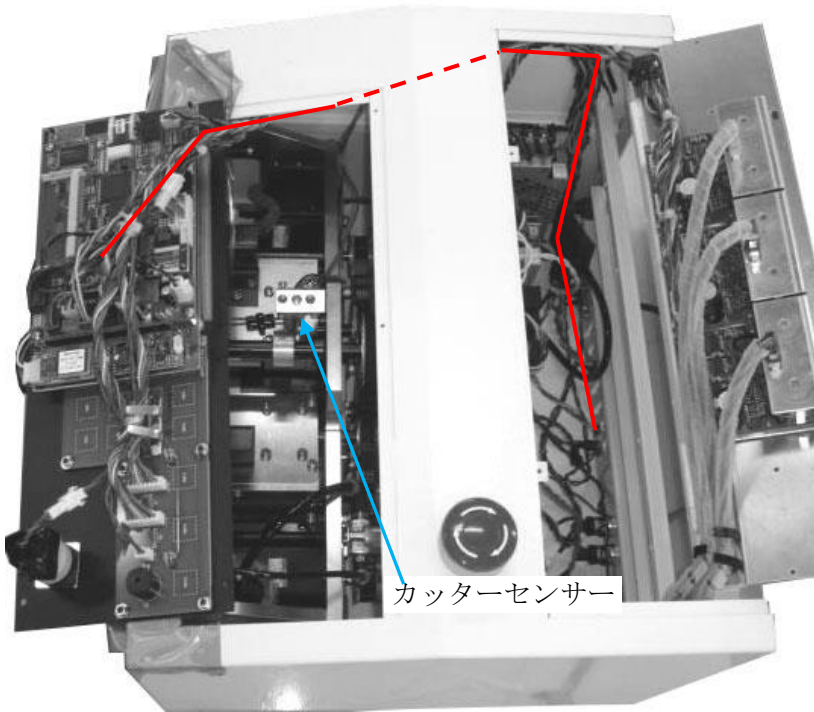
<C370A 内部ハーネスの追加>



①C370Aの電源コードを抜いてから、操作パネルを開けます。

②付属のハーネスのコネクターAを、操作パネル裏のメイン基板の M5M6 (緑) に差し込みます
付属のハーネスのコネクターBを、メイン基板の S6 (青) 差し込みます。



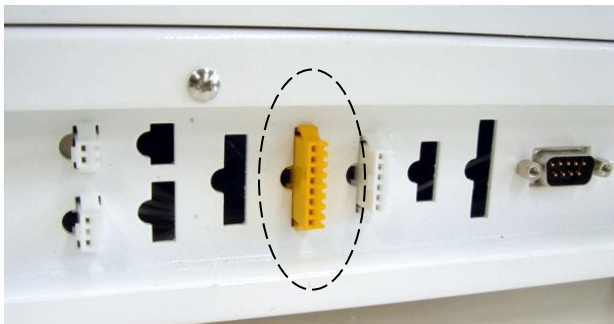


③付属のハーネスを
左写真の様に
機械の内部を配線します



操作パネルを閉じる際
「カッターセンサー」に
ハーネスが接触しないこ
と

カッターセンサー



④電源ボックスの 8P 用の穴に、
コネクタC を差し込みます



電源ボックスには他機器との接続用コネクタがいくつかあります。
誤接続により内部基板の損傷などを防止するため、使用していないコネクタ
は電源ボックス内部へ押し込むか、空コネクタを装着する等の対策をお勧め
します。
コネクタは上下のストッパー（ツメ）を挟むと電源ボックス内部へ押し込む
ことができます。

<外部接続>



ハーネス B



ハーネス C

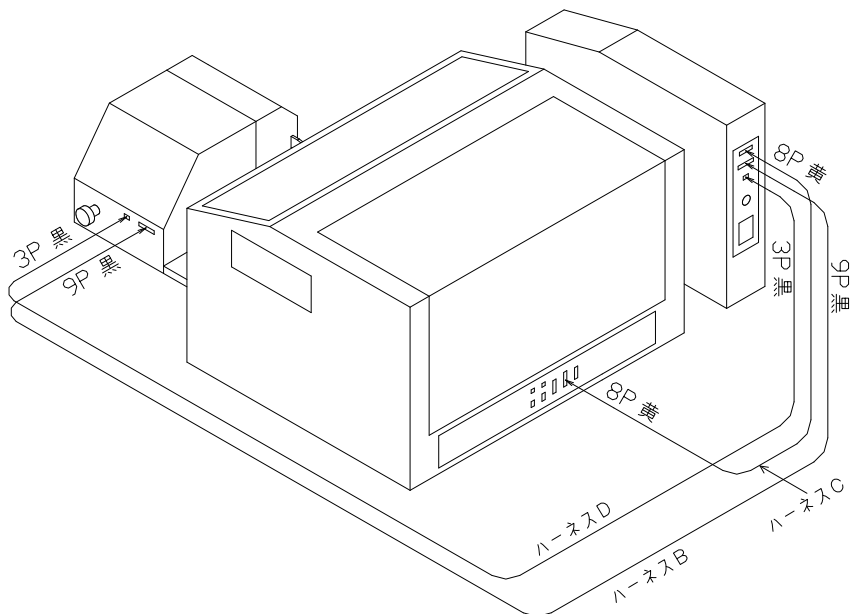


ハーネス D

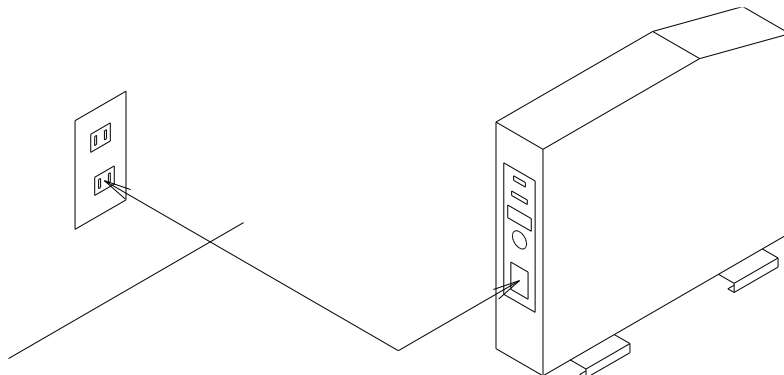
①ハーネス B・C・D を、図の様に取付けます。



各ハーネスの誤接続には十分注意して下さい。
誤って接続した場合、内部の基板を損傷し、動作不能になる可能性があります。



②電源コードをコントロールBOX裏と、コンセントに接続して下さい。



2. 設定画面

基本	動作	機械調整
	先端	後端
動作	② 燃る	⑨ 燃る
マーカー	③ 正燃り	⑩ 正燃り
スリッター	④ 7 燃り強さ	⑪ 9 燃り強さ
① CASY637A	⑤ 二重燃り	⑫ 二重燃り
	⑥ 燃りのみ	⑬ 燃りのみ
	⑦ 切断長 3mm	⑭ 切断長 2mm
初期化	⑧ 被覆直径 1mm	⑮ 5 燃り速度



上記画面は、説明用に CASY-637A で表示される項目を全て表示しました。
設定によって、表示される項目、表示されない項目があります。

①《CASY637A》: 燃り機 (CASY-637A) を使用するときを選択します。

CASY-637A の状態によって、表示が替ります。

CASY637A : CASY-637A との通信が正常に行われ、燃り加工 OFF のとき。

CASY637A : CASY-637A との通信が正常に行われ、燃り加工 ON のとき。

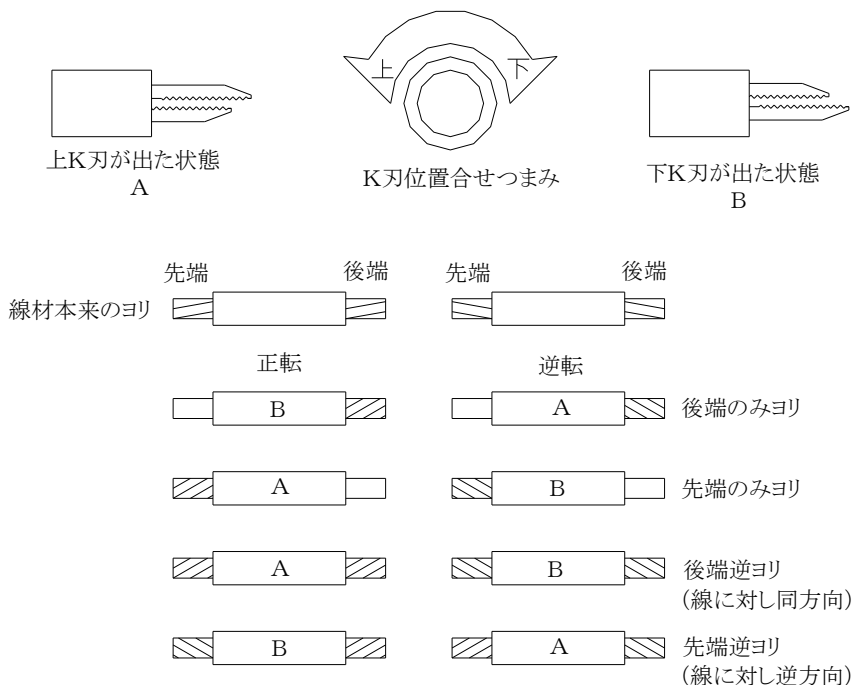
CASY637A : CASY-637A との通信が正常に行われていないとき。

②《燃る》: 先端側の燃り加工を行うかの設定です。

燃る → 燃らない → 燃る …と切り替わります。

③《正撚り》《逆撚り》: 先端側の撚りの方向の設定です。

触れる度に **正撚り** → **逆撚り** → **正撚り** …と切り替わります



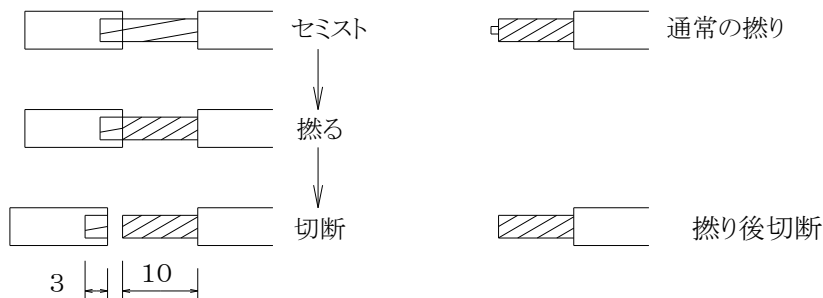
④《撚り強さ》: 先端側の撚りの強さの設定です。



⑤《二重撚り》: 撚り動作を2回行うことで、さらに強い撚りを行います。

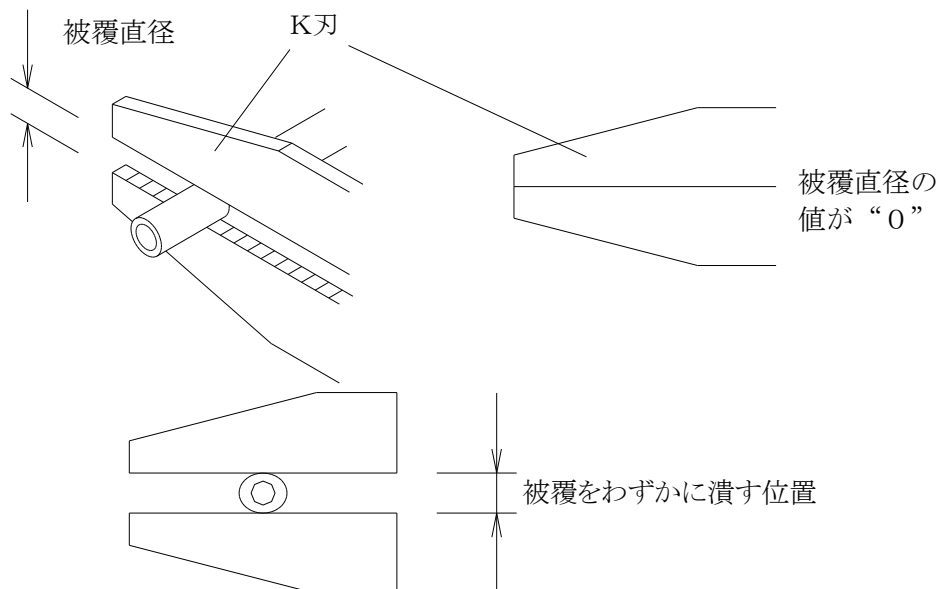
⑥《撚りのみ》《撚り後切断》: 電線を撚ると、芯線の中心は撚れずに飛び出てしまいますので、撚ってから切断し、端末を揃えるのが《撚り後切断》です。

触れる度に **撚りのみ** → **撚り後切断** → **撚りのみ** …と切り替わります。



⑦《切断長》: 撚り後切断を行うときの切断量の設定です。《撚り後切断》を選択しているときに表示。
上図では、[3]を設定しています。

⑧《被覆直径》: 加工している電線の被覆の直径(K刃が被覆をつかんで撚じるため)です。



⑨《撚る》: 後端側の撚り加工を行うかの設定です。水色の場合はON(使用する)です。

⑩《正撚り》《逆撚り》: 後端側の撚りの方向の設定です。(先端側参照)

触れる度に **正撚り** → **逆撚り** → **正撚り** ...と切り替わります

⑪《撚り強さ》: 後端側の撚りの強さの設定です。

⑫《二重撚り》: 撚り動作を2回行うことで、さらに強い撚りを行います。

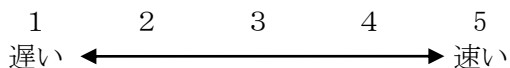
⑬《撚りのみ》《撚り後切断》: 電線を撚ると、芯線の中心は撚れずに飛び出てしまいますので、撚ってから切断し、端末を揃えるのが《撚り後切断》です。

触れる度に **撚りのみ** → **撚り後切断** → **撚りのみ** ...と切り替わります。

⑭《切断長》: 撚り後切断を行うときの切断量の設定です。(先端側参照)

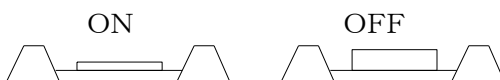
《撚り後切断》を選択しているときに表示します。

⑮《撚り速度》: 撚る時のK刃の速度です。



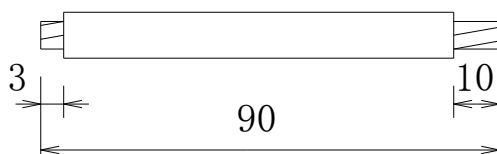
3. CASY-637A 取扱方法

- ①CASY-637A コントロールBOXの電源スイッチを、ONにして下さい。
 (この時点では、スイッチは光りません。)



- ②C370A の電源スイッチをONにして下さい。(C370AがONの状態ではかコントロールBOXはONになりません。)CASY-637A のK刃が、一回閉じて開きます。(原点復帰します。)

- ③次に設定ですが、例として下記の様な線を加工します。



基本画面

《先端ストリップ長》	[3][SET]
《先端セミストリップ長》	[2][SET] ([0][SET]で自動セット)
《全長》	[9][0][SET]
《後端ストリップ長》	[1][0][SET]
《後端セミストリップ長》	[8][SET] ([0][SET]で自動セット)
《芯線直径》	[][][SET]
《刃の戻り》	[][][SET]

動作画面

《CASy637A》	
先端 《撚る》	
先端 《正撚り》	
先端 《撚り強さ》	[9][SET]
後端 《撚る》	
後端 《正撚り》	
後端 《撚り強さ》	[9][SET]
《被覆直径》	[][][SET]

機械調整画面

《ステップ送り》

④[START]でステップ送り加工を行います。

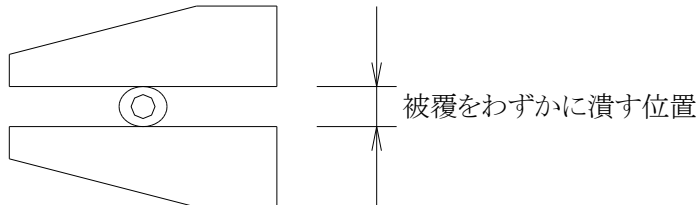
⑤さらに数回[次へ]を押すと、セミストリップした被覆をK刃が挟みます。

ここが、《被覆直径》の値です。

この時、K刃が線材をつかんでいる状態を確認し、

潰し過ぎている様なら、《被覆直径》の値を大きく

つかんでいない様なら、《被覆直径》の値を小さくして下さい。



注意:《被覆直径》の値は線材によって変わります。例えば、0.5sqの線を何種類か加工しても、被覆の厚みや質によって撚り易かったり、撚りにくかったりするため、《被覆直径》の値はそれぞれ変わります。尚、《被覆直径》の値が小さすぎると、先後端が潰れたものが加工されます。

⑥撚れる様になりましたら、機械調整画面の《ステップ送り》を解除します。

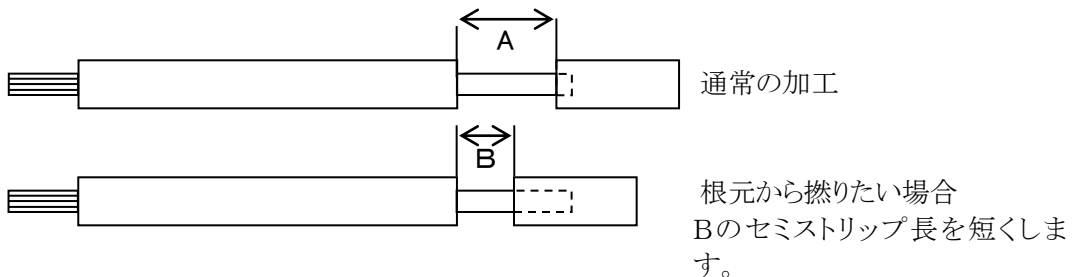


・撚った後の被覆のカスがエアで飛ばない時は、交換したエアノズルを、カスが飛ばす様に曲げて調整して下さい。

※撚りが弱かったら・・・[撚りの強さ]を大きくして下さい。

※撚りが強すぎたら・・・[撚りの強さ]を小さくして下さい。

※もっと根元から撚りたい・・・小さいセミスト値を入れれば、撚り始めの位置が根元近くから撚ることが出来ます。



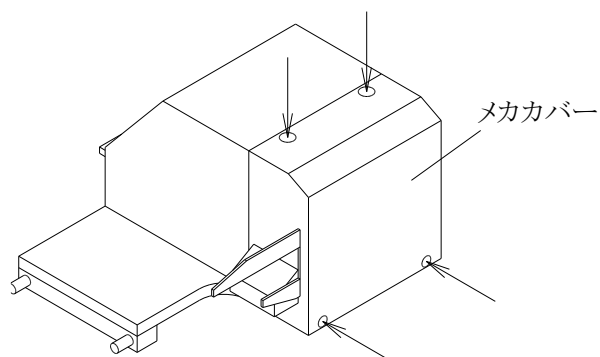
但し、セミスト値が小さすぎますと、撚りの時にカスが取りきれないで残る可能性が出てきますのでご注意ください。

4. K刃の交換方法

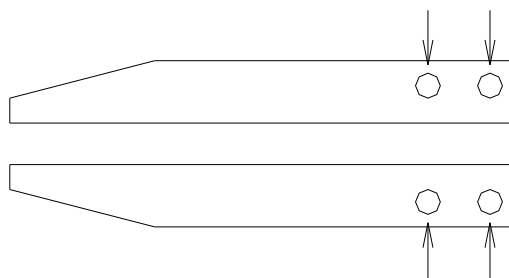
K刃は消耗品です。下記の要領で交換して下さい。

①電源をOFFにして下さい。

②下記の4つのネジを外し、メカカバーを取り外します。

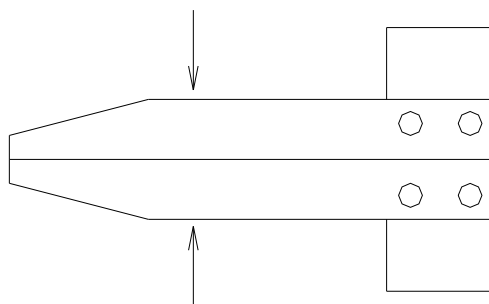


③K刃を固定している各2個のネジを外します。



④新しいK刃と交換したら、3で外したネジで仮締めします。

⑤K刃を閉じて、平行をとります。



⑥ネジを確実に締めて、メカカバーを取付けたら完了です。

5. こんな時に・・・

◎K刃が脱調する

→スタート時のK刃の位置が違っていませんか？

CASY-637A 本体上部のシールを参照して下さい。

◎燃りが弱い

→線材によっては、セミスト値を少し小さくするだけで、随分変わる場合があります。

→《燃り強さ》の値を大きくします。

◎後端が燃れない

→線材の癖はとれていますか？

癖がとれていないと、後端加工の際、カッターブロックに線材が入らない場合があります。

→C370Aの左側ローラーギャップが広すぎませんか？

ローラーギャップを狭くして下さい。

◎先端が潰れる

→左ローラーのギャップが狭すぎませんか？

ローラーギャップを広くして下さい。

広くしたためにエラーとなり“電線を確認して下さい”のメッセージが出るときは、《電線検出》をOFFにして下さい。

◎先端がバラける

→ローラーが綾目ローラーではありませんか？

綾目のローレットの目に当たり、先端がバラける場合があります。ローラーをサンドショットローラーかウレタンローラーに変えて下さい。



注意:CASY-637A の電源がOFFの状態では加工をしないで下さい。

K刃が邪魔をして正常な加工ができません。

仕 様

形式	CASY-637A
外形寸法	CASY-637A本体 W260mm×D235mm×H155mm コントロールBOX W60mm×D315mm×H260mm
重量	CASY-637A本体 6.5kg コントロールBOX 5.0kg
電源電圧	AC 100V ~ AC240V(单相) 50/60HZ
消費電力	最大70W (100V のとき)
撚り長さ	先端3mm以上 後端3mm以上
ワイヤーサイズ	AWG # 14 (2sq) ~ # 32 (0.03sq) (但し線材による)
動力	ステッピングモーター

※本仕様は改良のため、予告なく変更することがございます。

2013年1月9日